

かもまる通信



【図書館歳時記】 「安藤信正生誕 200 年 その7」

安藤信正は江戸幕府の老中を務め、外交交渉の場でも力量を発揮しました。この頃の信正の仕事ぶりや人物像については、ともに仕事をした田辺太一や福地源一郎が記録を残しています。

「ただ自己の聡明をもて、当然の情と理とに照して、これが応答をなし、加ふるに機敏の才、応変に妙なりしかば、一時、外国公使も賛称して措かず」（田辺太一『幕末外交談』）。「其剛毅にして果断なると、其機敏にして神速なるには、各国公使も感服して畏敬を表したりき」（福地源一郎『懐往事談・附新聞紙実歴』）。

田辺や福地の文章にある「聡明をもて、当然の情と理とに照し」「機敏の才、応変に妙なり」「剛毅にして果断」「機敏にして神速」という言葉から、信正の類まれな能力の高さや仕事ぶりなどを窺い知ることができます。（次号に続く）

いわき総合図書館長 夏井芳徳

おすすめの本紹介

※書名後の【 】は、いわき総合図書館の分類番号です。

「箱根のメンタル」【782.3-ハ】（一般書・スポーツ）

設楽悠太 ほか 16 名 著 宝島社

この本は、箱根駅伝を走った設楽悠太や、本県出身の藤田敦史など当時のスター選手 17 人が、「それぞれの箱根駅伝」を語るインタビュー集です。

彼らはどのような思いで箱根を走り、その経験はどう活かしているのか？数ある強豪校からなぜその大学を選んだのか？恩師との運命的な出会いなど、今だから話せる数々の貴重な証言が収められています。

彼らは箱根駅伝から何を学んだのか？テレビ中継には映らない「箱根駅伝」が見えてくることでしょう。



「レオナルド・ダ・ヴィンチの童話」【973-レ】

（児童書・イタリアの童話）レオナルド・ダ・ヴィンチ 著
西村暢夫・渡辺和雄 共訳 裾分一弘 監修 小学館

芸術家や科学者などとして知られるレオナルド・ダ・ヴィンチは、鳥や魚介や草木を主人公とした、子ども向けの童話も数多く書き残しています。

本書は、イタリアの詩人であるブルーノ・ナルディーニが、ダ・ヴィンチの童話の中から 73 編を

抜き出し、編集したものです。

天才レオナルド・ダ・ヴィンチは、子どもたちに何を伝えたかったのか？彼の人柄や人生観を伺うことができる、ウィットとユーモアを織り交ぜた読みものです。



「OPENNESS 職場の『空気』が結果を決める」【W-336.3-キ】 （一般書・ビジネス） 北野唯我 著 ダイヤモンド社

日本の職場に欠如しているもの、企業業績と強い関係があるものとして、著者は、OPENNESS（オープネス）を挙げています。

本書は、OPENNESS とは何か、なぜ重要なのか、どう活かすべきかを理論とデータで解説したものです。

高い成果を出し続けるには、組織の“何を”変えればよいのか？今の職場環境をよくするために“自分にできること”は何か？明日から、自分や仲間がもう少し“楽しく出社できる”ようになるコツは？と考えている人に、おすすめの一冊です。



「アドリブ」【913-サ】（児童書・小説）

佐藤まどか 著 あすなろ書房

イタリアの田舎町で母とふたりで暮らす 10 歳のユージが衝撃を受けた“天使の声”、それは国立音楽院の生徒による出張コンサートで聴いたフルートの音色だった。

やがて、難関の国立音楽院に入学するが、本気でめざしても、プロになれるのはひと握り。

クラシック音楽界のきびしさを目の当たりにした、15 歳のユージの決断とは…。

先輩や同級生らと技術や表現力を高め合い、切磋琢磨しながら成長していく姿を描く青春音楽小説です。



貸出 TOP10

1	そして、バトンは渡された	瀬尾まいこ 著	文藝春秋
2	かいけつゾロリのちていけん	原ゆたか 著	ポプラ社
3	人魚の眠る家	東野圭吾 著	幻冬舎
4	むらさきのスカートの子	今村夏子 著	朝日新聞出版
5	危険なビーナス	東野圭吾 著	講談社
6	さよならの儀式	宮部みゆき 著	河出書房新社
7	かいけつゾロリの謎の100本	原ゆたか 著	ポプラ社
8	かいけつゾロリのじごくりょう	原ゆたか 著	ポプラ社
9	きえた! ?かいけつゾロリ	原ゆたか 著	ポプラ社
10	マスカレード・ホテル	東野圭吾 著	集英社

予約 TOP10

1	希望の糸	東野圭吾 著	講談社
2	落日	湊かなえ 著	角川春樹事務所
3	そして、バトンは渡された	瀬尾まいこ 著	文藝春秋
4	一切なりゆき	樹木希林 著	文藝春秋
5	ライオンのおやつ	小川 糸 著	ポプラ社
6	黒武御神火御殿	宮部みゆき 著	毎日新聞出版
7	「大家さんと僕」と僕	矢部 太郎 著	新潮社
8	さよならの儀式	宮部みゆき 著	河出書房新社
9	祝祭と予感	恩田 陸 著	幻冬舎
10	背中蜘蛛	誉田 哲也 著	双葉社

「図書館『いわき学』講座」

いわきの歴史や文学などを5回連続で学ぶ講座を紹介します。

1回目は、いわき市勿来関文学歴史館の中山雅弘館長を講師に、「いわきの武士団と白水阿弥陀堂」を開催しました。

参加者からは、「地域への理解を深めることができた」、「いわきの歴史をもっと知りたくなった」等の感想が寄せられました。

※定員に達しましたので、受付は終了しました。

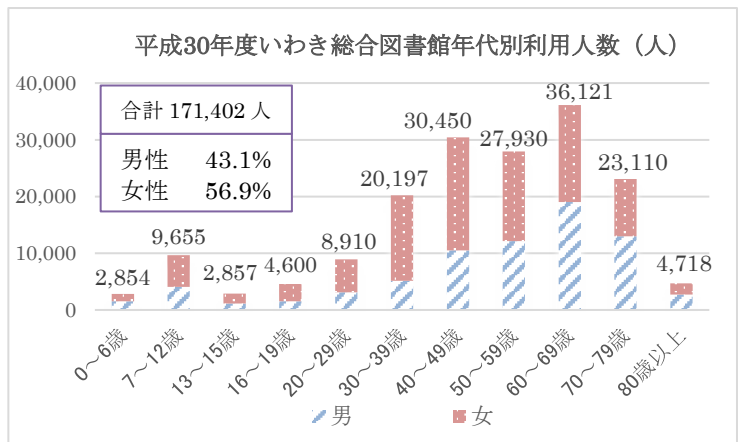
1/29(水) 13:30~15:30	「いわきの武士団と白水阿弥陀堂」 いわき市勿来関文学歴史館 館長 中山 雅弘 氏
2/ 5(水) 13:30~15:30	「磐城平城築城のころのいわき」 いわき総合図書館 館長 夏井 芳徳
2/12(水) 13:30~15:30	「いわきの戊辰戦争」～小名浜地区での戦い～ いわきの歴史案内人 野口 七朗 氏 (いわき学博士号取得者)
2/19(水) 13:30~15:30	「吉野せい『涙をたらした神』を読み解く」 いわき地域学会 代表幹事 吉田 隆治 氏
2/26(水) 13:30~15:30	「地域史から学ぶ時代の潮流」 ～その時々で先人は何を考え、どう行動したか、を考える～ いわき地域学会 幹事 小宅 幸一 氏

シリーズ 数字で見るいわきの図書館

【いわき総合図書館の年代別利用人数】 (延べ貸出人数)

平成30年度いわき総合図書館の利用者を年代別に見ると、一番多いのは21.1%を占める60代の36,121人で、次いで17.8%の40代30,450人、16.3%の50代27,930人でした。

男女の割合は、50代までは女性が男性を上回っていますが、60代に入ると男性が逆転していることが見てとれます。



図書館豆知識 【大活字本】

いわき総合図書館5階、館内階段近くに「大活字本」の書架があるのをご存じですか？

「大活字本」は、この文章のように文字の大きさや行間等を調整して、大きな活字で印刷された図書です。どうぞ、ご利用ください。

